

熊本大空襲70年及び 祈念碑建立35年 慰霊祭

主催:337-E地区 在市24ライオンズクラブ

とき:平成27年7月1日(水)10:00~

ところ:メルパルク熊本



熊本大空襲を記す碑

碑文

熊本市は昭和19年11月21日以来、数回(年表参照)の空襲を受けた。なかでも、昭和20年7月1日夜から2日未明にかけてのB29による焼夷弾攻撃、8月10日等の空襲のため、水前寺、大江、本荘、春竹、本山、蓮台寺、八島方面、新市街、下通、水道町、安巳橋、千反畑、草葉、坪井、黒髪方面等、市内の約3分の1が消失。この間の罹災官公庁学校は県庁、県会議事堂、県立図書館、財務局、税務署、専売局煙草工場、熊本郵便局、熊本幼稚園、白川、黒髪、壺川、池田本荘、日吉、熊本の各国民学校、済々黌、熊本中学、市立、大江、家政、熊本工業、市立商工、葉専、熊本医大等、罹災家屋総数11,000戸、罹災者数43,000人、死者数469人、負傷者数552人という。

筆舌につくせぬ悲惨な被害を受けた被害者の霊を弔い、再び戦争を繰り返さぬよう祈念するため この碑を建立するものである。

1980年4月27日 ライオンズ国際協会337-D地区年次大会

熊本平和祈念碑慰霊祭

2015年7月1日(水) 10:00
於 メルパルク熊本
司会 熊本黄壁城 LC 幹事 L.西田紀雄

1.開会の言葉 第二副地区ガバナー L.村中尊裕亀

2.黙祷

3.来賓紹介

4.代表挨拶 熊本黄壁城 LC 会長 L.田中裕司

5.熊本平和祈念碑建立について 肥後熊友 LC L.國米聰太郎

6.熊本大空襲について 古澤千代勝 様

7.献花 東光院 住職 塚本哲人 様

8.閉会の言葉 1 Z. Z C L. 米澤義一

祈念碑建立にいたった経緯

私が熊本マグナライオンズクラブのチャーターメンバーであったことから、この祈念碑ができた経緯について話を、との依頼を受けました。八十歳も超えまして、記憶が余り定かではありませんが、思い出せることを少しお話ししたいと思います。

昭和52年／1977年7月 藤川俊夫ライオンが、マグナライオンズクラブの第11代会長に就任されました。同時に幹事となられた宇治寿康（としやす）ライオン と共に、私も会計として、微力ながら一年間お手伝いをさせていただきました。

その任期中、1978年4月の337-D地区の年次大会の場で、マグナライオンズクラブの第2代会長だった 村上望城（もちき）ライオンが、地区の第一副会長に選ばれました。

村上ライオンは、長年教員として県内各地で活躍された後、RKKに入社されました。当時RKK学園の学園長を務めておられ、皆の人望の厚い方でした。

翌昭和54年／1979年7月に、337-D地区のガバナーとして正式に選任された時、「社長でも医者でもないサラリーマンがガバナーに選ばれたのは初めて」と聞いたのを憶えています。

村上ライオンは、ガバナー就任前から、熊本の空襲の記録があまりなく、悲惨な歴史が風化してしまうのではないかと、との懸念を持っておられたようでした。1980年4月の337-D地区の年次大会の記念事業として、熊本大空襲の慰霊碑を建てることを提案されました。

多くの方々が賛同し、当時熊本市にあった、

熊本ライオンズクラブ

熊本中央ライオンズクラブ

熊本第一ライオンズクラブ

熊本マグナライオンズクラブ

熊本キャッスルライオンズクラブ

熊本りんどうライオンズクラブ

熊本火の国ライオンズクラブ

の、7つのクラブがホストとなり、建立が決まりました。キャビネットと各クラブの三役で具体的な企画をして事業を進め、村上ガバナーは自ら碑文を作成されました。

このような経緯で、昭和55年／1980年の4月27日、この熊本平和祈念之碑が完成しました。その後毎年7月1日に、合同で慰霊祭を行って来ました。

私事で恐縮ですが、私はこの空襲の前年、昭和19年に、旧制の熊商の同級生と共に、長崎の三菱造船に学徒動員されました。

翌昭和20年の6月、工場への一年間の皆勤の褒美として、学年で数人だけ里帰りを許されました。まだ十五だった私は、久々の親元で気が緩んだのか体調を崩し、長崎に帰るべき日になっても、今の上通にあった実家で寝込んでおりました。

7月1日の夜、すぐ上の兄が、「聰ちゃん、聰ちゃん、B29が来たよ。起きなっせ。もうそこまで火が来とるよ。逃げなん。早よ早よ。」などと言いながら、寝ていた私を揺すり、必死に連れて逃げようとしてくれました。

兄の言うことは聞こえていて、「うん、うん……」と答えたのですが、何日も高熱で寝込んでいて意識も朦朧としていた私は、どうしても起き上がることができず、死を覚悟しました。

この碑文に書かれているように、熊本市中心部の広い範囲が爆撃を受け、木造の建物はほとんど灰になりました。しかし、当時としては破格に広かった通町筋の道と、熊本日々新聞の石造りの建物、そして手取神社の木々のお陰で、実家とその周辺は火災を免れ、私は文字通り九死に一生を得ました。

私だけではなく、昭和54年当時、この慰霊碑の建立に関わったライオンの大半は、空襲の記憶や、犠牲になった方々への想いがあったことでしょう。

空襲から70年、慰霊碑建立から35年、殆どの在市のライオンが先の大戦のことを知らない今も、ここでこうして毎年、皆様が郷土の歴史と空襲の被害者に思いを馳せ、平和を祈念して下さることを、本当にありがたく思います。

また、このような意義深い祈念碑を提案して下さった村上望城ガバナー、建立にご尽力下さった当時の各クラブの三役や全ライオンの皆様に、改めて敬意と感謝を捧げますと共に、7クラブを中心に永久に慰霊祭が続けられることを祈念します。

最後に、熊本大空襲の被害者を含めた、先の大戦の犠牲者の皆様のご冥福をお祈りいたします。

平成27年／2015年7月1日

國米 聰太郎

熊本大空襲を碑面に

熊本市内のライオンズクラブ

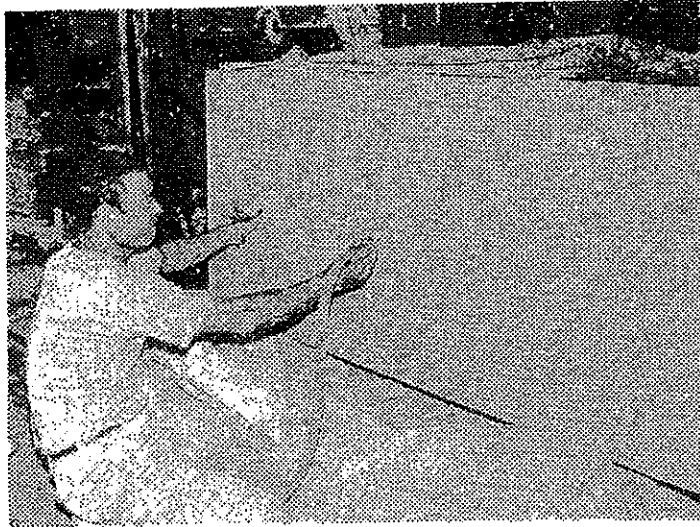
白川緑地帯に「平和記念碑」

死傷者千余人を出した熊本大空襲のもようを克明に刻んだ「平和記念碑」が、終戦から三十五年自

の十五日、ノーマア戦争の祈りを込め熊本市の白川緑地帯に建立される。

記念碑建立は四月、熊本市で開かれたライオンズクラブ国際協会377D地区年次大会の記念事業として計画、市内七クラブ（会員数五百六十人）が推進してきた。碑はポルトガル産の大理石が使われ、台座を含めた高さは一・八呎、幅二・二呎、奥行き〇・八呎。堀内清治熊大工学部教授らが設計、「熊本平和記念之碑」と名付けられた。

熊本市は昭和十九年十一月末以来数回の大空襲を受けた。なかでも二十年七月一日夜から二日未明にかけての、B29による焼い弾攻撃や八月十日の大空襲によって市内の三分の二が被害を受け、被災世帯一万二千戸、四万三千人、死者四百六十九人、負傷者五百五十二人の惨状となった。



完成間近い「熊本平和記念之碑」

地帯に設置され、終戦記念日の十五日午前十一時から除幕式が行われる。今後、毎年終戦記念日に戦没者の慰霊祭は同碑前で、ノーマア戦争を訴え続けていく、という。

55. 8. 16

大空襲を克明に

P10

「熊本平和記念之碑」が除幕式が、終戦記念日の十五日午前十

一時から熊本市水道町の白川緑地帯に関係者ら約八十人が出席して開かれた。

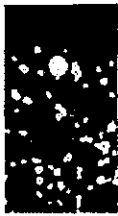
来賓の星市市長があいさつの後、神事、黙とうを告げ、碑を建立した熊本市内七つのライオンズクラブ会長の除幕した。建立者を代表して村上望城さん（RKK学苑理事長）が「戦後三十五年、戦争を知らない世代が増えた。世界の子供の幸せのためには戦争のない平和な世の中を作らねばならない。記念碑を建てて戦争



熊本平和記念之碑除幕式

の悲惨さを後世に伝えることにも熊本大空襲でなくなった人々の思いを祈りたい」とあいさつした。その後、大空襲で家族をなくした同市白山二丁目の高橋サタさん（七）が献花した。

碑はポルトガル産の大理石が使われ、高さ一・八呎、幅二・二呎、奥行き〇・八呎。堀内清治熊大工学部教授らが設計に当たった。工費約四百五十万円。



約60機のB29…熊本大空襲



①一瞬にして焼け野が原に

昭和20年7月1日、熊本市はマリアナ基地から来襲した約60機のB29による焼夷弾攻撃を受けました。これらの空襲によって市内中心街の大部分が焼失、死者617人、家屋破壊・焼失は約1万2,000戸にも上りました。

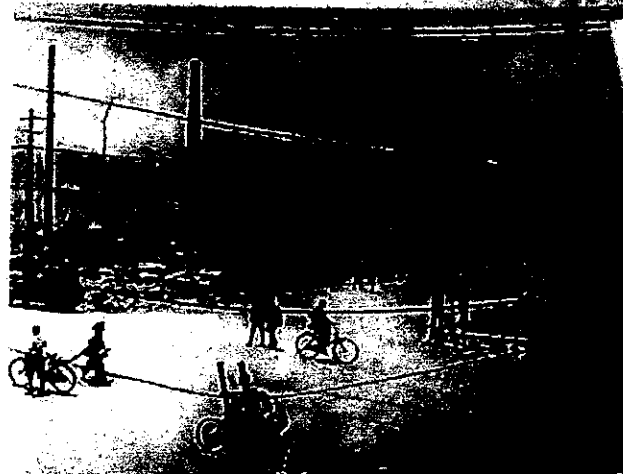
〈私の体験〉

市内は一面の焼け野原

熊本市龍田町上立田1679-7 城 敏子(70)

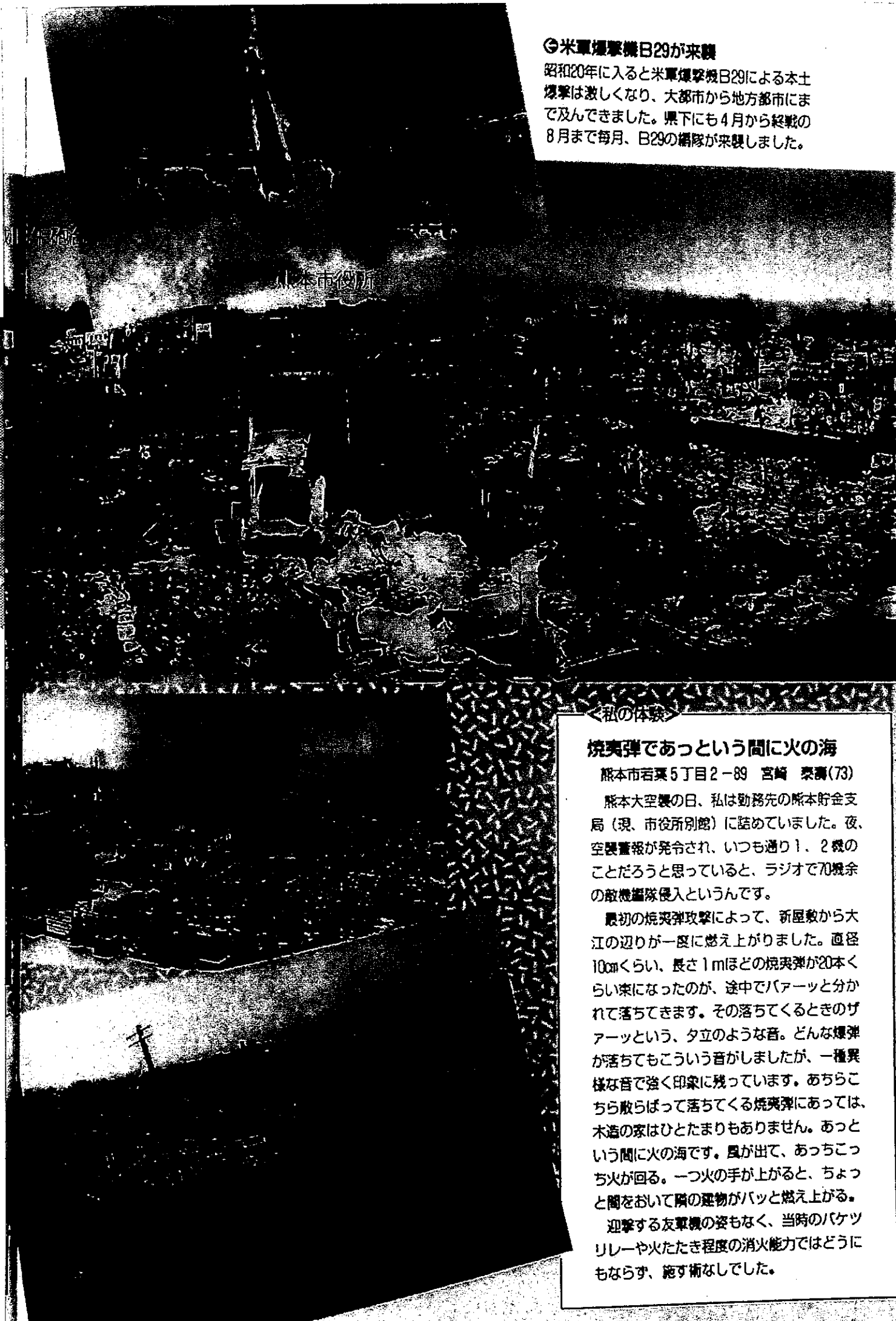
当時、私は20歳。住まいは古城堀端にあり、花畑町の専売局(現在、熊本岩田屋と交通センター)に勤めていました。家の庭にはイチジクがよく茂った下に防空壕が掘ってあり、大空襲の夜もそこにひそんでいました。防空壕の中から、B29が落とす焼夷弾が、まるで仕掛け花火のように見えました。

翌日、専売局の様子に気になり行ってみると、市内は一面の焼け野原。局は事務所と工場の煙突は残っていましたが、局工場、電気館、銀丁もみんな燃えて一本の木もありません。局の辺りから白川の大甲橋が見えていました。そして、黒牛げになった人が「とうまいぞ」に入れられて、あちらこちらに転がされていたのが今も忘れられません。



◎米軍爆撃機B29が来襲

昭和20年に入ると米軍爆撃機B29による本土爆撃は激しくなり、大都市から地方都市にまで及んできました。県下にも4月から終戦の8月まで毎月、B29の編隊が来襲しました。



＜私の体験＞

焼夷弾であつという間に火の海

熊本市若菜5丁目2-89 宮崎 梨壽(73)

熊本大空襲の日、私は勤務先の熊本貯金支局（現、市役所別館）に詰めていました。夜、空襲警報が発令され、いつも通り1、2機のことだろうと思っていると、ラジオで70機余の敵機編隊侵入というんです。

最初の焼夷弾攻撃によって、新屋敷から大江の辺りが一度に燃え上がりました。直径10cmくらい、長さ1mほどの焼夷弾が20本くらい束になったのが、途中でバァーッと分かれて落ちてきます。その落ちてくるときのザァーッという、夕立のような音。どんな爆弾が落ちててもこういう音がしましたが、一種異様な音で強く印象に残っています。あちらこちら散らばって落ちてくる焼夷弾にあつては、木造の家はひとたまりもありません。あつという間に火の海です。風が出て、あっちこっち火が回る。一つ火の手が上がると、ちょっと間をおいて隣の建物がバツと燃え上がる。

迎撃する友軍機の姿もなく、当時のバケツリレーや火たたき程度の消火能力ではどうにもならず、絶す術なしでした。

熊本大空襲

昭和20年7月1日の空襲

B29爆撃機154機が、宇土半島の海岸線に沿って熊本市に侵入。1日の23時50分から翌2日の1時30分頃にかけて熊本軍用地帯・熊本駅および操車場・工場群等を目標に焼夷弾1107トン进行投下。

市街の大部分が焼失し、罹災人員36,314人、死者388人・重軽傷者475人・行方不明13人・家屋破壊・焼失9,077戸。

昭和20年8月10日の空襲

8月10日午前、市街東方から侵入したB29と小型機の編隊約210機が県下一円を襲撃、熊本市でも7月1日の空襲で焼け残っていた地域などが焼失した。

熊本市の被害は、罹災戸数1,551戸・罹災人員6,308人・死者45人・負傷者43人。

熊本市の空襲

年	月日	内容
昭和19年	11月21日	B29 80機九州西部に來襲、熊本市花園町柿原に500キ口爆弾10数発投下
昭和20年	3月18日	米艦載機県内各地空襲。三菱航空機被災（死者6名、負傷者13名）
	3月27日	熊本市健軍町の三菱重工業熊本航空機製作所が爆撃、機銃掃射を受ける。（死者1名）
	5月13日	三菱航空機（死者8人、負傷者3人） <u>傷痍軍人療養施設再春荘</u> 、 <u>恵楓園</u> 、熊本工業学校が爆撃
	6月17日	B29県下工場地帯を夜間焼夷攻撃
	6月29日	早朝、B29約30機、県下各地を焼夷弾により空襲
	7月 1日	B29、154機が、翌2日未明にかけて熊本市を空襲、市内の大部分焼失、各種デマ流布
	7月 4日	B29戦爆連合九州へ、熊本郵便局焼失
	7月10日	小型機の戦爆連合約140機、熊本市及び県東北部へ
	7月24日	P51など小型機約1,500機県下各地へ、熊本駅も機銃掃射
	8月 5日	戦爆連合380機航空基地周辺へ
8月 7日	戦爆連合250機、日奎・熊本市など各地	
8月10日	県下各地に早朝より戦爆連合約210機來襲、各地の被害甚大、熊本市立高等女学校など焼失	

出席者名簿

一般来賓	古澤 千代勝 様			
クラブ名	役職		役職	
熊本LC	1Z ZC	L. 米澤義一		L. 末吉 稔
	幹事	L. 荒木 明		L. 早咲一男
	会計	L. 前田実生		
熊本中央LC	会長	L. 亀浦正行		L. 澤谷政光
	幹事	L. 松村リザ		L. 福山克己
		L. 佐藤利則		L. 村上家督
熊本第一LC	会長	L. 堤 順一	会計	L. 野中建光
	幹事	L. 松本国隆		
熊本マグナLC	会長	L. 古賀信有		L. 中尾寿孝
		L. 林田倫隆		L. 福山 隆
		L. 荻原伸吉		L. 島田修二
熊本キャッスルLC	地区YCE委員長	L. 井芹貴子	会計	L. 山下 敦
	会長	L. 須崎安博		L. 塚本哲人
	幹事	L. 浦田富也		
熊本りんどうLC	地区LCIF・国際大会委員長	L. 三島省吾	会計	L. 眞鍋豊孝
	会長	L. 川上敏雄		
熊本火の国LC	会長	L. 伊藤竜彦	会計	L. 武末直大
	幹事	L. 上田 龍		L. 石崎大徳
熊本東LC	会長	L. 高野瑞代		
熊本龍峰LC	会長	L. 鹿子木裕二	会計	L. 小川誠治
	幹事	L. 田尻照幸		
熊本南LC	会長	L. 國崎 修		
熊本金峰LC	2Z Z幹事	L. 中村義親		
		L. 小崎達司		
熊本リバティLC	会長	L. 西村謙介		
	幹事	L. 蔭山勝彦		
熊本サンライズLC	会計	L. 島 晴房		
熊本創世記LC	6Z ZC	L. 阿向孝志		
	会長	L. 中林マリ		
熊本白門LC	会長	L. 織昌純吾		L. 井村秀夫
		L. 守屋 尚		
熊本城北LC	会長	L. 江藤 隆	会計	L. 清家美穂
	幹事	L. 岩本好史		
熊本菊南LC	会長	L. 仁木和朝		
	幹事	L. 田中秀和		
肥後黎明LC	会長	L. 緒方晃成		
	会計	L. 福田善之		
熊本黄壁城LC	会長	L. 田中裕司	会計	L. 小室三男
	幹事	L. 西田紀雄		
熊本ダイヤモンドLC		L. 齊木信吾		
熊本城東LC	会長	L. 吉田秀憲	会計	L. 中根稔久
	幹事	L. 平根隆志		
熊本平成LC	会長	L. 上野光英	会計	L. 福島三歌
	幹事	L. 坂井幸一		
肥後熊友LC	会長	L. 木下時夫		L. 山本國繁
	幹事	L. 西田向史		L. 國米聡太郎
肥後東LC				L. 柏田閑子
	⑧ 会長	L. 内田浩次		
	幹事	L. 加田哲郎		